

# つながりあって、環境のためにひとつひとつ。

三井住友銀行の環境ビジネスに、  
国境はありません。世界中のパートナーと共に  
次々と新しい力を生み出しています。

今、環境ビジネスがますます注目されています。さまざまな課題の解決に向けて、大切なのは、世界がつながりあって力をあわせること。三井住友銀行は、グローバルネットワークに磨きをかけるため、各国のパートナーとの提携を進めています。なかでも、特に深い関係を築きつつあるのはアジアです。フィリピンでは大手民間銀行Metrobank、マレーシアでは製造業業界団体FMM及び同国でグリーン購入を推進するNGOのGPNM、インドネシアでは国際金融公社(IFC)及び米国政府機関のEco-Asia。他にも多くの仲間と共に、風力・水力発電事業などの環境プロジェクトの発掘や開発、ファイナンス、さらには日本企業の環境技術の仲介などを行っています。



マレーシアの民間団体との  
環境関連ビジネス推進に関する覚書締結調印式

世界の環境都市(エコシティー)で、  
日本の最先端技術を活かす。  
日本総合研究所の新しい試みのひとつです。

世界の環境都市の中で  
注目が集まる天津エコシ  
ティー(中新天津生態城)。  
この街で日本総合研究所  
は、これまでの環境事業に  
関するノウハウを活かし、  
太陽光や風力を含む「再生  
可能エネルギー計画」を  
策定しました。そして現在は「域内での再生可能エネルギー利用率  
20%以上」という高い環境目標に向け、現地顧客や日本企業と共に、  
計画の実現と運営方法の検討を行っています。これからは、中国、インド  
を中心とした新興国で、日本企業の優れた環境技術を活かす事業  
モデルを立ち上げ、最先端の環境都市開発における日本企業の参入を  
支援します。世界にとってより良い環境都市を。私たちはさまざまな  
日本企業、そして世界のパートナーと共に未来を目指します。



天津エコシティー完成予想図

三井住友銀行  
投資銀行部門  
ストラクチャードファイナンス営業部  
環境ソリューション室長  
工藤 禎子

日本総合研究所  
執行役員  
創発戦略センター所長  
井熊 均

LEAD THE VALUE

三井住友フィナンシャルグループ



三井住友銀行



日本総研  
The Japan Research Institute, Limited